



愛知県政 11月27日 150周年



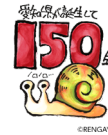
12月定例愛知県議会開会へ

12月1日に開会する愛知県議会12月定例会には、人事委員会勧告に基づく一般職・特別職の給与改訂費等44.57億円(議員は期末手当0.025月分引上げ)を含めた一般会計89.88億円、特別会計0.34億円、企業会計1.46億円が上程され、財源は特定財源の国庫支出金34.81億円、県債3.09億円や一般財源の繰越金51.91億円などです。コロナ関連は35億円の補正となり今年度合計は923億円、累計1兆4,268億円となります。条例関係はあいち県民の日の条例制定やヤードにおける盗難自動車の解体防止に関する条例の一部改正などです。

(国の経済対策によっては追加補正もあります)

【補正予算の主な内容】

- ・ 自宅療養者配食サービス提供体制確保事業やPCR検査体制強化推進事業などのコロナ感染症拡大防止のため引き続き医療体制を確保に32.27億円
- ・ 県立学校におけるコロナ感染症対策や学習保障に必要な取組の充実を図るとして7千万円(当初1校当たり90万円～360万円→補正後104万円～414万円)



- ・ 県独自の新規事業として年末年始に臨時に発熱患者等の診療・検査を行う医療機関・薬局(医師会・薬剤師会と協議し選定)に対し支援1.61億円(12月31日・1月1日は1施設1日当たり医療機関20万円、薬局5万円等)
- ・ 来春4月の県議会議員選挙費として準備のための投票用紙の印刷など県執行経費0.88億円、ポスター看板設置など市町村交付金4.29億円合わせて5.18億円

【あいち県民の日の条例の制定について】

11月27日の県政150周年を契機として鈴木も2010年11月定例会の一般質問で取り上げたあいち県民の日が制定されます!

概要:あいち県民の日を11月27日とし11月21日～27日の期間(あいちウィーク)に啓発及び事業を事業者・市町村等の協力を得ながら実施、公の施設で知事が定めるものについては使用料等の全部または一部を免除することができるとする。

あいち県民の日条例 前文

県政150周年を契機にあいち県民の日を創設し、県民一人一人が、愛知県の歩みを振り返り、愛知の魅力を再発見し、次なる時代に向けた創造の基盤を積み重ねることで、県民がともに支えあい、希望と誇りを持つことができる愛知の実現を目指し、この条例を制定します。



●愛知県競馬組合議会県外調査

Aiba 札幌駅前には駅に直結する都市型の新しい場外馬券場で一人用専用席やカフェバーなども併設、ディーブインパクトのノーザンホースパークでは競走馬の飼育など、全日程をナイターで開催する門別競馬場では屋内調教用坂路や運営体制などについて調査しました。



●警察委員会県内調査

愛知県警察本部北分庁舎で122名・警ら用無線自動車20台で犯罪検挙・初動対応・交通死亡事故抑止などに取り組む自動車警ら隊、県民と警察を結ぶ音の架け橋として隊長以下40名で活動する警察音楽隊、サポートカー限定免許などについて調査しました。



●連合愛知尾張南地協芋掘り体験

連合愛知は農業体験を通じた食育や障害者の就労、子ども食堂支援などを目的に津島にみんパタの皆さんに協力頂きここあファームを開園しています。今回は南地協の皆さんの芋掘りイベントが行われ薩摩芋を収穫、一部はフードバンクに寄付されました。



STEP 21 県政

2022R04



新政あいち県議団

すずき純

鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島10-82 Tel 24-6600 Fax 23-0791 juneri@na.commufa.jp

2211



愛知県は11月27日に県政150周年を迎えます。以下は鈴木が平成22年の11月定例会一般質問で「愛知県民の日」を取上げた時の本文の一部です。…本県では、**愛知県民の日**は制定されておりません。歴史的経緯からいえば明治4年7月の廃藩置県により…尾張は、名古屋、犬山の2県、三河は、重原、半原、豊橋、岡崎、西大平、刈谷、西端、西尾、拳母、田原の10県…11月には、三河の諸県が廃止され、額田県が設置され、犬山県は名古屋県に合併…翌明治5年4月には、名古屋県が愛知県と改称され、**11月27日に愛知県に額田県が合併**となり、現在の愛知県の県域が形づくられたと…

愛知県 150年の歩みから(超抜粋)

- 1872 明治5 名古屋県を愛知県と改称、額田県と合併し現在の愛知県誕生 人口1,210,368人
- 1879 明治12 最初の愛知県議会議員選挙(定数50人口約130万人)
- 1889 明治22 大日本帝国憲法発布 名古屋に初めて電灯が灯る 東海道線全通(新橋～神戸間 M37下津村他の尽力で稲沢駅誕生)
- 1890 明治23 第1回総選挙(直接国税15円、満25歳以上男子)第1回帝国議会開会
- 1923 大正12 名古屋で第1回メーデー 関東大震災発生 (絵はがき)正面より観る愛知県庁
- 1925 大正14 普通選挙法公布(25歳以上男子)
- 1938 昭和13 県庁(現本庁舎)完成
- 1941 昭和16 アジア太平洋戦争勃発
- 1944 昭和19 東南海地震発生
- 1945 昭和20 終戦 選挙法改正(婦人参政権)
- 1946 昭和21 日本国憲法公布
- 1950 昭和25 愛知県章制定
- 1954 昭和29 名古屋テレビ塔完成
- 1957 昭和32 名古屋駅前地下街誕生 名古屋市営地下鉄開通(名古屋～栄町(現栄)間)
- 1958 昭和33 県人口400万人を超える 大相撲名古屋場所初開催
- 1959 昭和34 伊勢湾台風 県内死者約3,200人 名古屋城再建
- 1964 昭和39 愛知県庁西庁舎完成 東海道新幹線開業(東京～新大阪間)
- 1967 昭和42 日本の人口が1億人を突破 県人口500万人を超える
- 1972 昭和47 札幌で冬季オリンピック開催 沖縄返還 日中国交回復 県政100年記念式典
- 1975 昭和50 愛知県会議事堂竣工
- 1989 昭和64～平成元 天安門事件 消費税導入(3%)
- 1990 平成2 東西ドイツ統一
- 1992 平成4 名古屋港水族館閉館 愛知芸術文化センター開館
- 1994 平成6 第49回国民体育大会(わかしやち国体)開催
- 1995 平成7 阪神・淡路大震災発生 地下鉄サリン事件
- 1999 平成11 県人口700万人を超える
- 2000 平成12 東海豪雨
- 2001 平成13 9.11同時多発テロ
- 2005 平成17 愛知万博(愛・地球博)開催
- 2010 平成22 平成の大合併終結(3,232 → 1,727市町村) 生物多様性条約第10回締約国会議開催
- 2011 平成23 東日本大震災発生
- 2014 平成26 県庁本庁舎・名古屋市役所本庁舎が国の重要文化財に
- 2016 平成28 G7伊勢志摩サミット 選挙権年齢18歳以上に引下げ 県人口750万人を超える
- 2018 平成30 成年年齢を18歳に引き下げる民法の改正
- 2019 平成31～令和元 皇太子徳仁親王ご即位 第70回全国植樹祭開催
- 2020 令和2 愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)開業
- 2021 令和3 東京2020オリ・パラ開催
- 2022 令和4 ジブリパーク OPEN!



●青柳史最初の公選知事(S22) ●桑原知事誕生(S26)



完成当時のテレビ塔



近鉄佐古木駅付近(現弥富市)の浸水の様子



再建中の天守閣(ハザマ提供)



空港島全景 提供:中部国際空港(株)

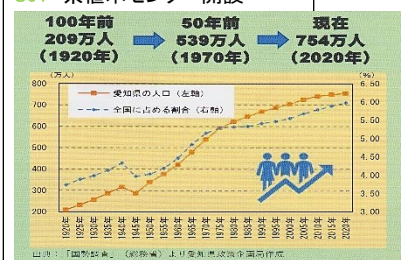


オアシス21で草間彌生作品を展示

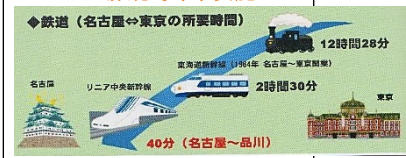


天皇皇后両陛下による「お手植え」「お手まき」

- M4 中島郡会所が稲葉村に
- T13 国府宮駅開業～新一宮
- S0 稲沢警察署誕生(一宮から独立)
- S22 初の公選市町村長に山田氏他
- S33 稲沢市制施行 ●初代市長加藤氏誕生
- S38 ●久保田市長誕生
- S42 ●新谷市長誕生
- S45 市役所新庁舎完成 稲沢操車場新跨線橋完成
- S46 祖父江町役場新庁舎完成
- S47 稲沢商工会議所設立
- S50 ●住田市長誕生
- S52 平和町役場新庁舎完成
- S53 勤労福祉会館総合体育館開館
- S55 国府宮駅前地下道開通
- S58 荻須記念美術館開館
- S61 県植木センター開設



- H3 ●加藤市長誕生
- H6 ●服部市長誕生
- H8 祖父江町町制100周年
- H12 稲沢駅東西自由通路完成 県下水道科学館竣工
- H15 新消防庁舎移転開設
- H16 平和町町制施行50周年
- H17 新稲沢市誕生(1市2町合併)
- H18 ●大野市長誕生
- H24 稲沢夢逢橋完成 尾張国分寺跡国史跡指定
- H26 稲沢市民病院開院 稲沢特別支援学校開校
- H28 ●加藤錠司郎市長誕生



- R3 祖父江ぎんなんパーク開園
- R4 東海北陸道一宮稲沢北IC開通



県政150周年

愛知県表彰で下津の小田先生が、県教育表彰では平和の恒川先生、祖父江の田中先生が表彰されました。鈴木も地方自治功勞(県議在職15年)で全国議長会から表彰があり須崎議長より伝達頂きました。…**未来へつづくまちづくりへ**一生懸命動きます。 愛知県議会議員 **鈴木じゅん**



愛知県新型コロナウイルス感染症 第8波の感染拡大の抑制に向け

嚴重警戒

愛知県全域 実施期間 10月1日～
今回変更 11月1日～

「嚴重警戒」での感染防止対策 ①

県民	① 外出の注意点	混雑した場所や感染リスクが高い場所を避けて
	② 県をまたぐ移動の注意点	基本的な感染防止対策を徹底
	③ 高齢者等への感染拡大の防止	高齢者・基礎疾患のある方に配慮
	④ 基本的な感染防止対策の徹底	感染しない、感染させない
事業者	⑤ 飲食店等に対する協力要請	入場者の感染防止のための整理・誘導 手指の消毒設備の設置 入場者に対するマスク着用等の周知 等
	⑥ 業種別ガイドラインの遵守等	全ての施設で感染防止対策を自己点検
	⑦ 生活・経済の安定確保に不可欠な業務の継続	十分な感染防止対策を講じつつ、業務を継続
	⑧ テレワークの推進等	テレワークやローテーション勤務の推進

「嚴重警戒」での感染防止対策 ②

事業者	⑨ 職場クラスターを防ぐ感染防止対策	休憩室等での注意周知
	⑩ 事業継続計画(BCP)の点検・策定	事業継続計画(BCP)を点検し、未策定の場合は早急に策定
その他	⑪ イベントの開催制限等	感染防止安全計画策定イベント 収容定員まで
		その他のイベント 5,000人又は収容定員50%のいずれが大きい方
	⑫ 行事等での対策	人と人の距離の確保、大声での会話自粛
	⑬ 学校等での対応	感染リスクが高い学習活動の実施は慎重に再開を検討、部活動は感染防止対策を徹底
	⑭ 保育所、認定こども園、幼稚園等での対応	感染リスクが高い活動は回避 (2歳未満児)マスク着用は奨めない (2歳以上児)マスク着用は一律には求めない
	⑮ 高齢者施設等での対応	「介護現場における感染対策の手引き」に基づき対応を徹底
	⑯ 医療機関等の負担軽減に向けた対応	救急外来・救急車の利用は真に必要な場合のみ
県	○ ワクチン接種の機会の提供	○ あいスタ認証店の普及

新型コロナウイルス感染症

県民・事業者の皆様には、以下の点についてお願いします。

- ① 外出の注意点
- ② 県をまたぐ移動の注意点
- ③ 高齢者等への感染拡大の防止
- ④ 基本的な感染防止対策の徹底
- ⑤ 飲食店等に対する協力要請
- ⑥ 業種別ガイドラインの遵守等

新型コロナウイルス感染症

県民・事業者の皆様には、以下の点についてお願いします。

- ⑦ 生活・経済の安定確保に不可欠な業務の継続
- ⑧ テレワークの推進等
- ⑨ 職場クラスターを防ぐ感染防止対策
- ⑩ 事業継続計画(BCP)の点検・策定

新型コロナウイルス感染症

県民・事業者の皆様には、以下の点についてお願いします。

- ⑪ イベントの開催制限等
- ⑫ 行事等での対策
- ⑬ 学校等での対応
- ⑭ 保育所、認定こども園、幼稚園等での対応
- ⑮ 高齢者施設等での対応
- ⑯ 医療機関等の負担軽減に向けた対応

『「嚴重警戒」での感染防止対策』の主な変更点

○ 実施区域
愛知県全域

○ 実施期間
今回変更:11月1日(火)～

【「教育活動の実施等に関するガイドライン」の記載変更による修正】

Ⅲ. 其他のお願い

⑬ 学校等での対応

○ 学校においては、健康観察の徹底(体調不良の際は登校させない)、手洗い・換気・マスク着用、オンライン学習の活用、食事中の会話禁止(会話は食事後にマスクを着けてから)等の感染防止対策を徹底して、教育活動の継続をお願いします。



○ 学校においては、健康観察の徹底(体調不良の際は登校させない)、手洗い・換気・マスク着用、オンライン学習の活用、食事中は大声での会話を控えること等の感染防止対策を徹底して、教育活動の継続をお願いします。

【時点修正】

Ⅰ. 県民の皆様へのお願い

④ 基本的な感染防止対策の徹底

○ 新型コロナワクチンの追加接種により、発症予防効果と重症化予防効果は、ともに回復します。3回目接種がお済みでない方や4回目接種の対象となっている方は、早期にワクチン接種の検討をお願いします。



○ オミクロン株対応ワクチンは、従来のワクチンに比べ、変異株にも効果が高いとされています。また、接種間隔が3か月に短縮されました。できる限り、年内に接種を受けていただくようお願いします。

※ その他、オミクロン株対応ワクチンの接種開始に伴い、記載を一部修正